

宮舟着場・小出舟着場周辺MAP



やませ蔵美術館
(道の駅から徒歩 12分)

上方文化の影響がみられる建築の一つ。秋に色づくもみじの庭園が趣深い。



丸大扇屋
(道の駅から徒歩 14分)

舟運文化を伝える建物の一つ。「入れかわど※」という長井特有の文化がある。

※「入れかわど」とは、戸外の水路から直接水を引き込む、昔ながらの台所です。



宮舟着場跡

水
土
里
ウオーク

農作物と文化の橋渡し最上川舟運

ときは元禄7年、江戸幕府成立とともに様々な交通網が整備され始めていた。ここ、長井でも最上川に航路を見出すと、米沢藩御用商人の西村久左衛門によって、最上川の難所が開削された。

こうして長井の地に米沢藩御用達「宮舟着場」、商人たち民間の「小出船着場」が整備され、長井から米、青芋など農作物が輸出され、各地の名産品や工芸品等の文化が入ってきた。この交わりが長井の経済を支える基盤となったのである。

現在、その場所は、「宮舟着場跡」、「小出船着場跡」となっており、最上川河川緑地公園や市民文化会館付近の堤防から階段を降りて近くまで行くことが可能である。また、舟場跡付近には石碑等が建てられており、当時のことをより詳しく知ることができる。

先人達の努力によって開かれた舟運文化に思いを馳せ、川と歩んできた長井に足を運んでみてはいかがだろうか。



**道の駅
川のみなと長井**

平成 29 年 4 月にオープンした、地域の特産物や情報が詰まっている場所。道の駅に車を駐車し、無料レンタサイクルで長井市内を周遊することができる。

小出舟着場跡



問い合わせ先：観光交流センター 道の駅 川のみなと長井（山形県長井市東町 2 番 50 号）

TEL 0238-87-1121（受付時間 9:00～18:00）E-mail: info@kawanominato.jp